

岩手県田野畑村方言の用言アクセント資料（４）： 形容詞（２）

著者	上野 善道
雑誌名	国立国語研究所論集
号	23
ページ	1-28
発行年	2022-07
URL	http://doi.org/10.15084/00003564

岩手県田野畑村方言の用言アクセント資料 (4)

——形容詞 (2) ——

上野善道

東京大学名誉教授／国立国語研究所 共同研究員

要旨

岩手県田野畑村方言の形容詞につき、5モーラ語から9モーラ語までの資料を提示し、分析をする。前稿の2～4モーラ語と合わせた形容詞のアクセント体系は次の特徴を持つ。長さを問わず、次末核型は常にある。それに対して、無核型は少数派で3～7モーラ語にしかなく、しかも5モーラ語以上では語構造に偏りがある。この2つの基本型に加えて、3～7モーラ語には語頭核型もあり、5モーラ以上の例は強いマイナス評価の意味と連動しているという特徴を持つ*。

キーワード：田野畑方言、形容詞、アクセント、次末核型、無核型

1. はじめに

本誌掲載の拙論 (2021a) でそのアクセント体系の概要——モーラを韻律単位とし、昇り核 (//) によって弁別される $P_n = n + 1$ の体系——を記述した岩手県下閉伊郡 (simo[he:guN]) 田野畑 (ta[nohada]) 村方言について、現在は用言を対象として記述を進めている。動詞のアクセント (上野 2020, 2021b)、2モーラから4モーラまでの形容詞のアクセント (上野 2021c, 以下「前稿」) に引き続き、今回は形容詞の後半の5モーラ語から9モーラ語までを扱い、最後に形容詞全体のアクセント体系をまとめる。対象とした形容詞は合計で約970語となる。

話者はこれまでと同じ (1) の方である。氏の生育された環境や、周囲から隔絶されていた田野畑村の状況については、上野 (2020, 2021a) を参照されたい。

(1) 話者

牧原 登 (ma[gihara no[boru]) 氏 1945 (昭和 20) 年生 元学校教員

2. 表記

本稿の表記は、語彙情報まで含めた主なものとして (2) を用いる。この方言の音声特徴は前稿等に譲るが、以下の最初の数点に留意すれば、後はほとんどローマ字表記通りに読めばよい。

* オンライン環境の中で長時間ご教示下さった話者の牧原登氏に厚く御礼を申し上げる。英文要旨では査読者と Mark Rosa 氏、細部の形式の統一では編集委員会にもお世話になった。本稿は JSPS 科学研究費 19H00530 (代表者：窪菌晴夫) による研究成果の一部である。同時に、国立国語研究所共同研究プロジェクト「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法」(プロジェクトリーダー：窪菌晴夫)、並びに「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」(プロジェクトリーダー：木部暢子) の研究成果も兼ねる。

(2) 記号類

ng: 鼻濁音。ガ行鼻音 ŋ で、g (=ŋ) とは区別される。カナではカ°行で表わす。

N: 撥音のン。従って、Nga はンガで、nga のカ°とは異なる。Nnga はンカ°となる。

なお、促音は子音を重ね、本来は「:」で表わす長音は、入力便宜からコロンの代用する。

c: チ・ツの破擦音子音。ca はツァ、ci はチ、cu はツ、ce はツェ、co はツォ。

j: ヤ行子音および拗音。ja はヤ、je はイエ、kju: はキュー、cja はチャ。

◌: 母音の無声化。直後には無声子音のみが現われる。

<m>: 稀。使用の稀な単語・用法。後出の <x> に近い場合、時にその活用形調査は省略した。

<n>: 新。新しい単語・用法。ただし、全体として、より伝統的な方言の記述に重点を置いた。

<o>: 古。古い単語・用法。主に明治生まれを中心とする古老が用いていたもの。

x: 使わない意。その直後の語形は使わない意のときは、語形との区別から <x> とする。<x> は「◯◯は使いません」と言いながら答えてくれた語形を採用したものである。<x> 付きの終止形の多くはその活用形を聞かずに済ませた。x や <m> の後に、代わりに使う別語を記入してあることも多いが、意味・用法まで同一であるとは限らない。

<?>: 確かに使ったか疑問あり。その判断に自信なし。

<普>: こちらのほうが普通、普段よく用いる語形。

<聞>: 話者自身は使わないが、周りで聞く（聞いた）ことがある語形。

<上>: その語形を発音しながら「上品過ぎて方言では使わない」としたもの。

(OK): 筆者が観察・記録した限りにおいてこれで可であり、入力ミスにあらず。

上記の諸情報は終止形（現在形）にのみ付す。同じ情報が過去形と連用形にも原則的に当てはまる。後二者に付したのは、その中に限っての情報がほとんどである。

[: 昇りアクセント核。その核のあるモーラの直前に記す。核の位置は語頭から数えた丸付き数字でも示す。無核型は①とする。語末から数えたときは、数字の前にマイナス (-) を付す。

=: 無核型アクセントの印で、その語形の直後に付す。

_ : 2 単位形以上におけるアクセント単位の切れ目の印。無核型「=」の後では略す。

; : 見出し項目の意味の違いに用い、それに対応して語形も異なる場合もこれで分けて示した。

^x : 非文法的な語形、現実と異なる形。あったはずの正しい形として再建した^{*}とは区別する。

その他、適宜「-, (), /」で語形の省略表記、「強意」を（強）とするなどの略表記をした。

3. 調査項目

3.1 形容詞調査項目の選定

調査項目はできるだけ多く選んだ。その結果、書き言葉でしか用いられない硬い文章語などや、逆に若者言葉のくだけた俗語も含まれ、必ずしも方言の調査には向いていない面も出てきたが、その確認も含めて敢えて調査対象とした。複数のアクセント単位からなるもの、形容詞としての認定が問題となり得るものも含まれる。それらを含めた経緯や関連する事柄は前稿に譲る。

項目配列はモーラ数ごとに分け、その中を表音式五十音順にした。5 モーラ語以上は金田一語

彙の類別対象となっておらず、4モーラ語までの前稿に示した類表示は省いた。

3.2 形容詞で注目される語形成

アクセントの記述に入る前に、特徴的な語形成について述べておく。

前稿では、「赤い」の age:= に対する agakoi=, 「多い」の [o:i に対する o:[koi など、形容詞語幹に接尾辞 -koi の付く形とその特徴を取り上げた。今回は、4モーラ語以上、特に5・6モーラ語によく出る語形成を取り上げる。「せわしい」に対する「せわしない」など、標準語にも一部はあり、一般に「意味を強める接尾辞」などと呼ばれる、否定ではない「-ない」の付く形である。これが田野畑方言には多数ある。(3) を参照。

(3) 否定ではない - ナイ形

hurus[ne: (古い。元の形は huru[si:¹), ogasi[ne: (おかしい, oga[si:), sewasi[ne: (せわしい, sewa[si:); <聞>adarasi[ne: (新しい, adara[si:), isongasi[ne: (忙しい, isonga[si:), idamasi[ne: (痛ましい, idama[si:), osorosi[ne: (恐ろしい, osoro[si:), <o>odonasi[ne: (大人しい, odona[si:), kizewasi[ne: (気ぜわしい, kizewasi:=, [kizewasi:), [kozewasine: (小ぜわしい, [kozewasi:), sawangasi[ne: (騒がしい, sawanga[si:), <m>tanomosi[ne: (頼もしい, tanomo[si:), nigurasi[ne: (憎らしい, nigura[si:), <m>mezurasi[ne: (珍しい, mezura[si:), jagamasi[ne: (やかましい, jagama[si:); [koccabisine:, [koccamisine: (小寂しい, [koccabisi:, [koccamisi:), <m>[koccjo:sine: (気恥ずかしい, [koccjo:si: <小 + [sjo:si: 恥ずかしい), nikūtarsi[ne: (憎たらしい, nikūtara[si:), bagabagasi[ne: (馬鹿馬鹿しい, bagabaga[si:), <m>kuzijagamasi[ne: (口やかましい, kuzijagama:si:=, <m>kuzijagama[si:)

元の形容詞はシク活用のものばかりである。かつ、でき上がった -ne: 形はすべて有核型である(元の形のアクセントは、「気ぜわしい」と「口やかましい」だけは無核型が主であるが、他は有核型のみ)。この点で、シク活用や長い形には付きにくく、元の形の有核／無核を問わずに

¹「古しい」は「新しい」との対で生じた類推形で、それが - ナイ形にも拡張したものと考える。参考までに、『日本国語大辞典』第2版によれば、「古しい」は、方言では東北から北陸まで、八丈島も含めて日本の東側に広く分布しており(筆者のノートでも、八丈島樫立の古老はフルシキヤ、若者はフルキヤ)、中央語の文献としては『中華若木詩抄』(1520年ごろ)に見られるとある。鳥居裕美・鈴木博(1981: 27-28)では、室町後期の『蒙求抄』仁和寺本にフルシイがある(ただし、他の箇所には「旧キ」がある)とし、古くからのク活用の他に中世にシク活用が派生したのは、一つには対義語のシク活用「新シ(イ)」との関係があり、二つにはク活用形容詞の語幹反復によって生ずる形容詞はシク活用であることから、「古々しい」が関与した可能性も憶測として述べている。

後者に関しては、「荒々しい、痛々しい、重々しい、軽々しい、黒々しい、細(こま)々しい、寒々しい、長々しい、憎々しい、弱々しい、若々しい」などを見ても該当例は見つからず、唯一、「近々しい」(『日国』には落窪物語 10C 後半の例あり)に対して「近しい」が「近い」とは意味を異にして見つかっただけである。「近しい」は、『日国』には浮世草子・好色五人女(1686)の例が出ており、『デジタル大辞泉』には「近世以降の語」とある。田野畑方言も岩手県岩手郡雫石町方言(筆者の方言)も「近々しい」は使わないが、「近しい」は両方言とも使う。

なお、「新しい」の田野畑方言は古くは ni:si:= と言ったが、『日国』によれば、これは関東甲信越を中心として、青森・岩手、飛んで宮崎・鹿児島に分布し、琉球のミーサンに繋がる可能性もある。ただし、岩手でも雫石方言や盛岡方言にはない。(『日本国語大辞典』と『デジタル大辞泉』は Japan Knowledge に拠った。)

付いてその核の有無にそのまま対応する -koi 形とは、かなり違った振る舞いをしている。

意味に関しては、idama[si: に対する idamasine: は、後者の方が相手に同意・同情を求める気持ちが入るといふ内省報告を得ており、「意味を強める」という規定は、なお検討が必要である。

また、逐一の確認はしていないが、否定の -ナイ形の過去形は、motte:[ne: (もつたいない) に対して motte:[nagatta など、ほとんどが -nagatta が出るのに対して、否定ではない -ナイ形の過去形は、ogasi[ne: (おかしい) に対して ogasi[nagatta が主ではあるが ogasi[negatta も出るように、(3) の約 2/3 強が、従ではありながらも -negatta でも出ていることが目を引く²。

4.5 モーラ形容詞のアクセント

4.1 2～4 モーラ形容詞のアクセント

本題に入る前に、前稿の 2～4 モーラ形容詞のアクセントのまとめをしておく。(4) を参照。連用形は～ク形と～テ形の 2 つの形を掲げる。～ク形はナルヤナイに続く形である。

(4) 2～4 モーラ形容詞

項目	終止形	過去形	連用形 (～ク形, ～テ形)
無い	[ne:	[nagatta	[nagu, [nakute
良い	[je:	[jogatta, [jegatta	[jogu, [jegu, [jokute
濃い	[koi	[kogatta	[kogu, [kokute
赤い	age:=	aga[gatta	agagu=, agakute=
高い	ta[ge:	[tagagatta, ta[gagatta	[tagagu, [tagakute ta[gagu, ta[gakute
臭い	ku[se:	ku[sagatta	ku[sagu, ku[sakute
欲しい	ho[si:	[hosigatta, [hosikatta ho[sigatta, ho[sikatta	[hosigu, [hosikute ho[sigu, ho[sikute
多い	[o:i	[o:gatta	[o:gu, [o:kute

² 秋田県境に位置する雫石方言にもこの語形成法はある。(3) のうちの <m>[koccjo:sine: は、その基になる [koccjo:si: とともに言わず、接頭辞も -ne も付かない [sjosu (母音は短く、年配の女性は o[sjosu も) を使う点は異なるものの、他は hurusu[ne (古い, huru[su) をはじめ、田野畑で <聞> の情報付きの adarasu[ne (新しい, adara[su) も含めてすべて用いる (最後の母音はすべて短くなる)。アクセントの違いまで記すと、「大人しい」は o[donasune (o[donasu) もあり、「気ぜわしい」は ki[zewasu[ne, ki[zewasune, <o?>ki[zewasune= (ki[zewa[su, ki[zewasu, ki[zewasu=), 「小ぜわしい」は ko[zewasune, ko[zewasu[ne (ko[zewasu, ko[zewa[su) である。

雫石方言には他に ko[urus(j)ene (小うるさい, ko[urus(j)e, kouru[s(j)e, -sje は <o>), kedadamasu[ne (けたたましい, kedadama[su), <n?>sosokkasu[ne (そそっかしい, sosokka[su), maadarasu[ne (真新しい, maadara[su) 等もある。

やはりシク活用だけで、でき上がった形も有核型だけである点は田野畑方言と共通するが、-koi とは反対に、数は雫石方言の方が多い。また、否定であろうとなかろうと、どちらの過去形も motte[negatta (もつたいなかった), ogasu[negatta (おかしかった) で、-[negatta になる。

なお、筆者の内省では、これらにおける -ne の有無は強意を含む意味の違いにまず関与せず、問題の idama[su と idamasu[ne, さらに [damitta (go[do) (痛み入った(こと), この形の固定表現) は、大切な人や物をなくしたり壊したりしたときに、どれも同じように用いる。違いはむしろ、-ne の方がやや古い感じがするだけである。

危ない	abune:=	abuna[gatta	abunagu=, abunakūte=
悲しい	kanasi:=	kanasi[gatta, kanasi[katta	kanasigu=, kanasi[kūte=
めでたい	mede[te:	mede[tagatta	mede[tagu, mede[takūte
悔しい	kuja[si:	kuja[sigatta, kuja[sikatta	kuja[sigu, kuja[sikūte
恥ずかしい	[sjo:si:	[sjo:sigatta, [sjo:sikatta	[sjo:sigu, [sjo:sikūte

終止形は、[o:i (多い) と [sjo:si: (恥ずかしい < 名詞の「笑止」, 上野 2021c の注 1) の 2 例を除けば、2 モーラ語は有核型のみ、3・4 モーラ語は無核型と有核型からなり、有核型はすべて次末核型 (-②型) である。

活用形は、有核型は過去形も連用形も同じ振る舞いをし、長さを問わず、終止形の核の位置を保つ型を持つ。加えて、3 モーラ語では、ku[se:, ku[sagatta (臭い, 臭かった) のようにその 1 モーラ前が無声化しない限り、そこに核が来る [tagagatta (高かった) 型との併用で出る。しかし、4 モーラ語では、1 モーラ前にずれる型は散発的で極めて不安定であり、原則的に終止形の核の位置を保つ型のみが出る。無声化もその核の位置に影響することはない。一方、無核型 (①) は連用形も無核型で、過去形のみ -[gatta/[katta となる。これは、過去形が通時的に〜クアッタ (-gu/ku=[atta) に由来するためである (前稿参照)。

4.2 5 モーラ形容詞のアクセント

終止形と過去形から連用形のアクセントは予測できるので、以下はこの両形に限定して示す。なお、シク活用の過去形は、ほとんどが -sigatta と -sikatta の両形を持つが、提示は原則として回答順とし、特に統一しなかった (一方の答えに対して、他方の有無の確認をした場合も含む)。

(5) 5 モーラ形容詞

項目	終止形	過去形
薄暗い	usungure:=	usungura[gatta
難しい	muzugasi:=	muzugasi[gatta, muzugasi[katta
浅黒い	asangure:=, asangu[re:	asanguro[gatta, asangu[rogatta
面白い	omosi[re:	omosi[rogatta
珍しい	mezura[si:	mezura[sigatta, mezura[sikatta
青黒い	aongu[re:	aongu[rogatta, ao[ngurogatta
縁遠い	eN[do:i	eN[do:gatta
小汚い	[kokūtanē:	[kokūtanagatta

終止形は、無核型①と -②型に加えて、-③型と語頭核型①の 4 種類がある。過去形は、有核型は終止形と同じ位置に核を持ち、後部が 3 モーラの複合形容詞の一部がその 1 モーラ前に核を持つ形も併用する。無核型の過去形は -[gatta/[katta となる。これが全体の概要である。

終止形に戻って、その中を細かく見ると各型の分布は均一でなく、有核型の -②型が圧倒的

数を占める。-③型は eN[do:i の 1 例しか得られていない（後述 4.3 節の最後も参照）。無核型の数は少なく、(6) に見るように、限られた語構成が大半を占め、無色の語例は「おっかない、難しい」ぐらいしかない。

(6) 5 モーラ語無核型

okkane:= (おっかない), muzugasi:= (難しい); kanakuse:= (金臭い), mizuppoi:= (水っぼい);
i:nigi:= (言にくい), kigizure:= (聞き辛い), simeppoi:= (湿っぼい); usungure:= (薄暗い);
kudarane:=, kudanNe:=, <聞>kutarane:=, <聞>kutaNne:= (くだらない), tamaNne:= (たまらない);
kikane:= (頑是無い, きかん坊だ)

ここでの語構成はあくまでも枠組みを示したもので、たとえば「-臭い」は「金臭い」の他に「黴臭い、酒臭い、人臭い」も含むので、(6) がすべての該当語彙ではないが、それでも、その前部要素が無核型の名詞・動詞・形容詞からなる複合語・派生語にほぼ限られる。そして、これらの条件を満たしていても、(5) の「浅黒い」を始め、「水臭い」(mizukuse:=, mizuku[se:), 「寝苦しい」(nengurusi:=, nenguru[si:) など、無核型が主であっても有核型を併用する例もある。形容詞は（実は、動詞まで含めて用言は）無核型の方が明らかに有標である。そのため、短い基礎的単語では無核型を保持していても、長い単語になると、有核型も不自然ではなくなってくる。

もう一つ、語頭核の例が目にとまるが、これは 6, 7 モーラ語まで見た後で触れることにする。

4.3 6 モーラ形容詞のアクセント

6 モーラ語の代表語例の一覧を (7) に示す。

(7) 6 モーラ形容詞

項目	終止形	過去形
厚ぼったい	azubotte:=	azubotta[gatta
田舎くさい	inagakuse:=	inagakusa[gatta
遠慮深い	eNrjobuge:=, eNrjobu[ge:	eNrjobuga[gatta, eNrjobu[gagatta, eNrjo[bugagatta
我慢強い	gamaNzu[je:	gamaNzu[jogatta
狭苦しい	semakuru[si:	semakuru[sikatta, semakuru[sigatta
恐れ多い	osore[o:i	osore[o:gatta
気恥ずかしい	[koccjo:si:	[koccjo:sikatta, [koccjo:sigatta

5 モーラ語と酷似する枠組みである。(7) には均等に並べたものの、ここでも -②型が主流で、過去形はその終止形の核と同じ位置に核を持ち、一部がその 1 モーラ前に核のある形を併用する。無核型のほとんどは前部要素も無核型である。無核型の一部は有核型との併用で現われる。

「恐れ多い」osore[o:i は、「残り多い」nogori[o:i とともに 5 モーラ語「縁遠い」eN[do:i と同じ -③型のグループで、3 モーラ語の「多い」[o:i も実はここに属する（「間遠い」は不使用）。ここで注意したいのは、「(-)オーイ」の次末音が長音という特殊モーラであるがゆえに音節単位で

-③型になる、というのではない点である。この方言では、特殊モーラも核を担うことができ、Co: の構造に絞っても、to[: (十), jo[: (用), sumo[: (相撲), ke:do[: (街道), kibicjo[: (急須); ho[:ke: (頬); to[:su (通す), to[:ru (通る) 等々の例があり、活用形でも omo[:ne: (思わない) は o[mo:ba (思えば) と区別される (上野 2021a: 120-121) ³。上記の形容詞のアクセント (-)[oi: は、-②型の音韻変異ではなく、-③型で固定していると見るしかない ⁴。

4.4 7 モーラ形容詞のアクセント

次は7モーラ語に移る。(8) を参照。

(8) 7モーラ形容詞

項目	終止形	過去形
疑い深い	udange:buge:=	udange:buga[gatta
口やかましい	kuzijagamasi:=, <m>kuzijagama[si:	kuzijagamasi[katta, kuzijagamasi[gatta, kuzijagama[ʃikatta, kuzijagama[ʃigatta
白粉臭い	osiroikuse:=, osiroiku[se:	osiroiku[sagatta, osiroikusa[gatta
手っ取り早い	tettoriba[je:	tettoriba[jagatta
心苦しい	kogoronguru[si:	kogoronguru[ʃikatta, kogoronguru[ʃigatta
しち難しい	sizi[muzugasi:	sizi[muzugasikatta, sizi[muzugasigatta
小っ恥ずかしい	[koppazugasi:	[koppazugasigatta, [koppazugasikatta

基本枠はこれまでと同じであるが、無核型が急減し、有核型がさらに増えている。「口やかましい」における-②型との併用のみならず、「白粉臭い」osiroikuse:= のように、少なくともこの時の調査で確認した限り、過去形がosiroiku[sagatta と有核型対応形のみが出た例もある (執筆時の再確認では無核型に応じたosiroikusa[gatta も出、逆に終止形にも有核型も出た)。「しち難しい」のsizi[muzugasi: はこれまでにない新しい③型であるが、語頭核とともに、次節で扱う。

8モーラ語以上は調査語数が少なく、一覧提示は略すが、無核型の例は得られていない。-②型が大半で、それ以外の型は次節で検討する。

4.5 語頭核アクセント

後回しにしてきた5モーラ語以上の語頭核①の例を(9)にまとめて示す(括弧内の丸付き数字は併用型)。

³ 上野 (2021a: 120), (4) の「家」の「je:」は「je:」の入力ミスであった。訂正する。

⁴ この点で、同じく「(-)多い」がすべて(-)[oi:となるものの、特殊モーラが核を担わない雫石方言とは位置づけが異なることになる (上野 2021c: 16 注1の6行目参照)。付言すると、東京方言には(-)オー]イの発音がある (故川上稔, 故秋永一枝両氏の発音で直接観察)。ただし、秋永 (編) (2014: 100 など) ではオオ]イに対して「新はオ]ーイ」のような形で注記し、音節構造が異なると見ているが、その音節の切れ目は音声的にはそれほど明瞭ではなかったと記憶する。

(9) 語頭核型

[kizewasi: (気ぜわしい, ①), [kouruse: (小うるさい), [kokitane: (小汚い, -②), [kozagasi: (小賢しい), [kozewasi: (小ぜわしい), <m>[koppide: (小っぴどい); [arapo(:)si: (荒っぽい), [ciccikuse: (乳臭い), <m>[kocjo:si: (気恥ずかしい), [kimuzugasi: (気難しい, ①, -②), [koccabisi:, [koccamisi: (小寂しい), [konigurasi: (小憎らしい), [komuzugasi: (小難しい), [kojagamasi: (小やかましい); [koppazugasi: (小っ恥ずかしい, ①) ⁵

大半が ko- (小-) が前接している例である。しかし、この「小-」は、「程度の小ささ、軽度」を表わすのではなく、むしろ、もともと評価の意味を持つ単語に対して（時には皮肉を介して）話し手の一層否定的な意味を込めた用法と見られる。ただし、「小-」でも「小足りない」kottaNne:= に①型はない。一方、「小-」ではない [kizewasi: (気ぜわしい), [kimuzugasi: (気難しい) の「気-」の例もあり、ここでも語頭核は強いマイナス評価を反映している。ただし、^x[sewasine: (せわしない), ^x[nigurasi: (憎らしい), ^x[jagamasi:, ^x[jagamasine: (やかましい) などは不可で、やはり、マイナス評価の意味から直ちに語頭核を予測することはできない。[osorosi:, [osorosine: (恐ろしい), [meNdokuse: (面倒臭い) も、一度はあるかもしれないとされたが、確認調査では否定された。いら立ち、反感、蔑視などの否定的意味に加えて、ko-, ki- のように語頭が1モーラ形態素からなることが語頭核に関わっているものと考えられる。

ただし、(9) の中で [ciccikuse: (乳臭い) だけは特に不快感などは感じないとのことで、他と同じようには説明できない。[cicci_ku[se: の2単位形の可能性も考えてみたが、後部要素にはその音調特徴は見られないと観察した。「乳(房、液)」が①型の [cicci であることが何らかの点で関わっているに違いないが、なお後考に俟つ。

2モーラ接頭辞が付くことで、(9) と関連するが別の③型アクセントを取る例もある。

(10) ③型

<聞>ige[sjo:si: (いけ恥ずかしい), ige[kozagasi: (いけ小賢しい); sizi[muzugasi: (しち難しい), sizi[meNdo(:)kuse: (しち面倒臭い); mono[sanngasi: (物騒がしい)

ige- (いけ), sizi- (しち), mono- (もの) が付き、その後部要素がいわば語頭核を取るもので、全体としては6モーラ語以上における③型として、これまでとは異なる型になっている。後部要素の [sjo:si: と [kozagasi: は単独でも出る型だが、それ以外の ^x[muzugasi: などは存在しない。同じ接頭辞付きの例を見ても、「しちくどい」は siziku[doi, siziku[de: などで、^xsizi[kudoi, ^xsizi[kude: な

⁵ (9) のうち雫石方言で使う単語は、3.2節(3)と一部重複するが、ki[-zewasu(ne), ko[urus(j)e(ne), [kokitane, ko[-z(j)ewasu(ne), ki[mu'zugasu(ne), ko[nugurasu(ne), ko[mu'zugasu(ne), ko[jagamasu(ne), kop[pa'zugasu(ne)で、基本的に②型(そこが促音なら③型)になる。①型を取るのは「○狭広○」(狭=狭母音, 広=広母音, ○=任意の母音)の音韻構造のときだけで、(9)以外での①型 [ki'biwaru (気味悪い) もこの構造である。通時的には田野畑方言と同じ祖型の①型から、上記の音韻構造以外において核が後退した結果と見る。戻って、他の(9)は ko-zaga[su(-ne) (②もあるか?), koppi[-de, cuccu[ku[se ([cuccu 乳), kocca'bi[su(-ne) の-①型で、(使わない [arapo(:)si: を除き)他の語も-①型を併用する。「気」(①)を前部要素とする2語は無核型もある。さらに付け加えると、ko[tarune (小足りない, 馬鹿だ), mono[tarune (物足りない) がある(動詞「足りる」は taruru=, 否定は tarune=)。なお、「乳臭い」の雫石方言は cuccu[ku[se のみである。

どは得られていないし、「しちうるさい」も、稀用語ながら siziuru[se: であった。「いけ好かない」も、無声化が関与しているにしても⁶ igesu[kane: ではなく、igesuka[ne: だけで、「物足りない」も monotari[ne:⁶、また jakkika[ne: (言うことを聞かない、本節最終段落の kikane= を参照)、jassewa[si:, jaccewa[si: (やかましい) も③型以外である。③型が出るには、後部要素が語頭核以外の場合は、マイナス評価の意味に加えて、5 モーラ語以上という制限がある可能性がある。もつとも、「いけずうずうしい」は igezu:zu:[si: を記録してあり、やはり完全な予測はできない。

5 モーラ語には、もう一つ、これまでとは異質な成立を経た語頭核語の (11) がある。

(11) [jurugune:, ju[rugune: (“緩くない”), 過去形は [jurugunagatta, ju[rugunagatta

「緩い」ju[ri:, ju[rui の否定形 [jurugu_[ne: (ないし ju[rugu_[ne:) が一語化し、意味も「楽ではない、大変だ、困難だ」になっているもので（用例は資料篇の「息苦しい」を参照）、「紐が緩い」の否定形とは音調が異なる。この①型の一語化にも否定的な意味が関与していた可能性が考えられる。この単語は東北から北海道にかけて分布し、しばしば「気付かない方言」とされているのである⁷。

ここまでの枠組みには収まり切れない有核型の例がまだある。4 モーラ形容詞の中で出てきた例も加えて (12) に示す。su[managatta など、これらの過去形もすべて終止形と同じ位置に核を持つ。

(12) その他の有核型

su[mane: (すまない), [naNne: ((しては) ならない) ; wa[gaNne: ((しては) いけない, だめだ) ; ne:ki[rane: (煮え切らない), jariki[rene: (やりきれない) ; omoinga[gene: (思いがけない), hagarisi[rene: (計り知れない)

これらは、実は本来の形容詞ではなく、もともとは動詞の活用形だったと考える。それぞれ「済む、成る、分かる、煮え切る、やりきれる」という有核動詞 (-②型) の否定形そのもので、-③型 (ラ行動詞が撥音化した場合は -④型, 上野 2021a: 129) を取る。wa[gaNne: は、意味は大分離れているが、「分かる」wa[garu の否定形 waga[rane: が変化した形である⁸。

こう考えた場合、「*思いがける」「*計り知れる」という動詞があったのかがはっきりしないことが問題となる。しかし、「思いかける」は可能であるし、「計り知る」は『日本国語大辞典』に『正法眼蔵』(1231 ~ 53) の例が出ており、omoinga[gene:, hagarisi[rene: の形が作られたとき

⁶ 雫石方言では mono[tarune である。しかし一方、monosawanga[su (-[ne), suzumeNdoku[se である。

⁷ 同郷の雫石の人から「夏のはじめは体が暑さに慣れていないせいか、緩くないです。」というメールをもらったことがある。ju[rugune を丁寧体にして書いたものとする。雫石方言では ju[rugune, ju[rugunegatta で使う。筆者の直感においては、ju[ru (緩い) との繋がりはすでに感じなくなっている。なお、ju[ru の類義語の jurusu= (ゆるしい) は、身の回りに物がなくて (あるいは人がいなくて) 空間があり、ゆったりしている意。

⁸ 雫石方言では、文字通り「分からない」意では wagara[ne, 「ダメだ」の意では waga[ne で区別するが、どちらも wagara[ne とする人もいる (上野 2019: 20)。(12) の雫石方言形は、nara[ne など、すべて -[ne の語末核となる。続く (13) も cumara[ne で、活用枠からはみ出して形容詞化した waga[ne を除き、動詞が形容詞かの区別はできない。

には、それに相当する動詞形が前提になっていたものとする。

そうすると、そもそも (12) は形容詞と認定すべきかが問題となる。本稿の視点では、形容詞のアクセント体系を考える上でこれらを含めるか否か、という点である。結論から言うと、アクセントの観点からは、(12) はまだ動詞の活用形なのであって、形容詞の体系には含めないという立場を取る。その理由は、同じように動詞由来と見られるものでありながら、形容詞のアクセントパターンを取っている例が別にあるからである。(13) である。

(13) cumaN[ne: (つまらない, 面白くない)

動詞「詰まる」cu[maru の否定形であれば cuma[rane:, cu[maNne: であるが、「おもしろくない」意では-②型の cumaN[ne: しかないということであった。後者が明らかに形容詞の型である。今のところこの1例だけであるが、語ごとに形容詞化の度合いを検討するのではなく、アクセント論の立場からどこかで線を引くとすれば、(13) を形容詞と認め、(12) は動詞の活用形と認定することになる。

これに合わせると、(6) の kudaNne:= など(くだらない)や tamaNne:= (たまらない)も、無核型は意味的には形容詞としても困らないものの、無核型動詞(下だる, 堪る)の活用形と見る方が一貫することになる。

ただし、kikkane:= (きかん坊だ<聞かない)は、動詞 kigu (聞く)の語幹 kig- に類推統一された活用形の kigane:= (聞かない)とはっきり区別されるので、形容詞と認定される。形容詞の kika- は正規の対応形であり、別品詞となっていたが故に動詞のパラダイムに組み込まれず、類推が適用されずに元の形のまま残ったものである(同じ動詞から派生した名詞としては kikkazu= (聾者<聞かず)がある)。細かい事情は異なるが、類例には、mi[tagu_[ne: (見たくない)と midagu[ne: (不美人だ, みっともない。Cf. 見とうもない)がある。願望の助動詞 -tai は有声化せず、ここにおいても、形容詞と認められる midagu[ne: の方が規則的な対応形である⁹。

5. 形容詞のアクセント体系のまとめ

田野畑方言の2モーラから9モーラまでの形容詞のアクセントをまとめると、次のようになる。

終止形では、すべての長さにおいて多数を占めるのが次末核型-②である。無核型①はそれに次ぐが、3・4モーラ語にはそれなりに数があるものの、5モーラ語以上になると少なくなり、長い8・9モーラ語および最短の2モーラ語には見つからない。その意味で、形容詞のアクセント体系の基本をなす両型のうち、無核型の方が有標である。これらに加えて、5～7モーラ語

⁹ 雫石方言では、それぞれ kigane= に対して kikkane= (強意形は kikkane=, ただし <x>jakkikkane), miru[tegu_[ne (見る-たい-く-ない), mi[tegu_[ne, (見-たい-く-ない), <o>mi[tagu_[ne に対して midagu[ne である。田野畑方言では形容詞の強意形として kikkane:= はないが、逆に mittagu[ne: がある。雫石方言では mit[tagu_[ne は「見たくない」を強めた動詞活用形である。なお、聾者は kika~zu=, きかん坊は ki[kaNpo (OK) と言う(後者の類は田野畑では新語の由)。また、「見ざる, 言わざる, 聞かざる」を雫石方言で発音するとすれば, mi[~zaru, iwa[~zaru, kiga[~zaru となり, 最後の形は「着飾る」の kika[~zaru とははっきり区別される。語中の /k/ と /g/, /t/ と /d/ の対立は明瞭に存在する。これらを /k/, /t/ と見る立場を最初から取っていない理由である。

には語頭核型①も十数例見つかっており、強いマイナス評価と結びついている。6モーラ語以上には、2モーラ接頭辞と結びついた③型もあり、やはりマイナス評価と結びついている。

有核型形容詞の過去形・連用形は、終止形の核の位置を保持する型を必ず持つ。これが基本であるが、3モーラ形容詞は第1モーラが無声化しない限り、その1モーラ前に核を持つ型も併用する。しかし、4モーラ語以上では、1モーラ前に核のある型は個別的・散発的にしか出ない。一方、無核型は連用形も無核であるが、過去形は「〜クアッタ」の反映形-[gatta/[kattaとなる。

参考文献

- 秋永一枝編 (2014) 『新明解日本語アクセント辞典 第2版 CD付き』東京：三省堂。
 上野善道 (2019) 「津軽方言の形容詞のアクセント」『ことばとくらし』 31: 11-28。
 上野善道 (2020) 「岩手県田野畑村方言の用言アクセント資料 (1)」『ことばとくらし』 32: 7-29。
 上野善道 (2021a) 「岩手県田野畑村方言のアクセント調査報告—北奥方言アクセント祖体系との関連で—」『国立国語研究所論集』 20: 115-147。
 上野善道 (2021b) 「岩手県田野畑村方言の用言アクセント資料 (2)」『国語研究』 84: 1-29。
 上野善道 (2021c) 「岩手県田野畑村方言の用言アクセント資料 (3) —形容詞 (1) —」『ことばとくらし』 33: 11-34。
 鳥居裕美・鈴木博 (1981) 「蒙求抄の先抄本の用語についての小考—セイジ・セド京上・フルシイ・ギヤウドウノ下入—」『滋賀大國文』 19: 24-30。

Accent Data of Adjectives in the Tanohata Dialect, Iwate Prefecture: Part 2

UWANO Zendo

Emeritus Professor, The University of Tokyo/
Project Collaborator, NINJAL

Abstract

This paper presents and analyzes accent data of adjectives in the Tanohata dialect, Iwate Prefecture. The accent system of adjectives with two to nine morae has the following characteristics. There is always a penultimate kernel pattern regardless of length. However, the kernelless (i.e., unaccented) pattern constitutes a minority in that it appears only in words with three to seven morae, and in five-mora or longer words there is also a restriction in word structure. Aside from these two basic patterns, there is also an initial kernel pattern in adjectives with three to seven morae that is linked to strongly negative connotations in five-mora or longer words.

Keywords: Tanohata dialect, adjectives, accent, penultimate kernel pattern, kernelless pattern

見出し項目	田野畑村方言 終止形 (現在形)	過去形
(5 モーラ形容詞)		
愛らしい	<m>aira[si: <普>meN[koi, meN[ke:	aira[sigatta, aira[sjikatta, meN[kogatta, meN[kegatta
青臭い	aokɥ[se:	aokɥ[sagatta
青黒い	aongu[re:	aongu[rogatta, ao[ngurogatta
青白い	aozi[re:	aozi[rogatta
青っぽい	aop[poi	aop[pogatta
垢臭い	agakɥ[se:	agakɥ[sagatta
赤黒い	agangure=, <m>agangu[re:	aganguro[gatta, <m>agangu[rogatta
飽きっぽい	agip[poi	agip[pogatta
秋深い	x. [aginga_hɥ[ke:	
飽きやすい	agija[sui, agija[su:	agija[sugatta, agija[sɥkatta
浅黒い	asangure=, asanguroi=, asangu[re:, asangu[roi	asanguro[gatta, asangu[rogatta
浅ましい	asama[si:	asama[sigatta, asama[sjikatta
味気 (き) ない	x	
味気 (け) ない	azike[ne:, azikenga=[ne:	azike[nagatta, azikenga=[nagatta
汗臭い	asekɥ[se:	asekɥ[sagatta
温かい [暖] (天気:心)	atta[ge:. 天気は nu[gi:, nu[gui, nugu[koi も	atta[gagatta, [nugugatta, nu[gugatta
仇っぽい	<x>adap[poi	
新しい	adara[si:, <聞>adarasi[ne: <o>ni:si:=(親の代まで使っていた), <x>ni:sine:	adara[sigatta, adara[sjikatta, adarasi[nagatta, adarasi[negatta, ni:si[gatta
呆気ない	akke[ne:	akke[nagatta
あったかい [暖:温]	atta[ge:	atta[gagatta
あどけない	adoge[ne:	adoge[nagatta
阿呆臭い	x. bagakɥ[se:	bagakɥ[sagatta
あほらしい	<x>ahora[si:, bagakɥ[se:	
甘苦い	<x>amaninge=	
荒っぽい	arappoi=, [arapo:si:, [araposi: (子供が乱暴で 落ち着きがなく声を荒げる)	arappo[gatta, [arapo(:)sigatta, [arapo(:)sjikatta
ありがたい	aringa[de:	aringa[dagatta
言いにくい	i:nigi:=	i:nigu[gatta
厳めしい	<x>igame[si:	
寝 (い) 汚い	x	
意義深い	x	
潔い	isangi[je:	isangi[jogatta
勇ましい	isama[si:	isama[sigatta, isama[sjikatta
いじましい	<x>izima[si:	
いじらしい	<x>izira[si:	
意地悪い	iziwa[ri:, i[zinga_wa[ri:	iziwa[rugatta, i[zinga_wa[rugatta
忙しい	isonga[si: isongasi[ne:	isonga[sigatta, isonga[sjikatta, isongasi[nagatta, -[negatta
磯臭い	x. hamakɥ[se: (浜臭い)	hamakɥ[sagatta
痛ましい	idama[si: (宝物のように大切な, また破損, 消失, 死などを悼む), idamasi[ne:	idama[sigatta, idama[sjikatta, idamasi[nagatta
労 (いたわ) しい	ida[si:. Cf. 動詞は ida[:ru (労る)	ida[sigatta, ida[sjikatta
逸早い	<m>izihaj[je:	izihaj[gagatta

愛 (いと) おいしい	<x>ido:[si:	ido:[sigatta, ido:[sɨkatta
稚 (いとけな) い	x	
厭 (いと) わしい	x. sese[poi (麦の芒が肌に付く感じ)	sese[pogatta
訝 (いぶか) しい	x	
忌まわしい	x	
意味深い	<m>imibu[ge:, [iminga_hy[ke:	imibu[gagatta
嫌らしい (人)	ijara[si:, ja:ra[si:	ijara[sɨkatta, ijara[sigatta, ja:ra[sɨkatta, ja:ra[sigatta
色白い	<m>irozi[re:, <普>i[roziroda, i[ronga_si[re:	
色っぽい	irop[poi, <x>-pe:.. Cf. irope[: (衣類の配色)	irop[pogatta
いわけない	x	
謂 (い) われない	juware[ne:	<m>juware[nagatta
薄青い	<m>usuawoi=, <x>-we:.. Cf. 薄淡い	usuawo[gatta
薄赤い	usuage:=	usuaga[gatta
薄甘い	usuame:=	usuama[gatta
薄淡い	usuawe:=	usuawa[gatta
薄暗い	usungure:=, <m>usungurakoi=	usungura[gatta
薄黒い	usɨkure:= (OK), usungure:=	usɨkuro[gatta, usunguro[gatta
薄白い	<m>usuzire:=	usuziro[gatta
堆 (うずたか) い	uzudage:=	uzudaga[gatta
うそ寒い	x	
美しい	<x>ucyky[si:, ki[re:koda, ki[re:da	
疎ましい	<x>udoma[si:	
恨めしい	urame[si:	urame[sigatta, urame[sɨkatta
うら若い	<x>urawa[ge:	
麗しい	<x>uruwa[si:	
憂 (うれ) わしい	x	
えげつない	egecu[ne: (OK)	egecu[nagatta
縁遠い	eN[do:i	eN[do:gatta, <?>eNdo:[gatta
遠慮ない	eNrjo[ne:, eNrjonga=[ne:, eNrjo:=[ne: (長母音 化は助詞 nga の代用)	eNrjo[nagatta, eNrjo:=[nagatta
おおけない	x	
奥深い	ogubu[ge:, oguhy[ke:, [ogunga_hy[ke:	ogubu[gagatta
おぞましい	x	
恐ろしい	osoro[si:, osorosi[ne:	osoro[sigatta, osoro[sɨkatta, osorosi[nagatta, osorosi[negatta
おっかない	okkane:=, okkanakoi= (子供相手)	okkana[gatta
大人しい	odona[si:, <聞>odona[su:, <x>o[donasi:, odonasɨ[koi (子供相手), <o>odonasɨ[ne:	odona[sigatta, <m>odona[sɨkatta, odonasɨ[nagatta, <?>-[negatta
おとましい (うとまし い)	x	
おめでたい	omede[te: (OK)	omede[tagatta
面白い	omosi[re:, omosiro[koi, omoc[ce: (幼児語), <m>omocco[koi	omosi[rogatta, omoc[cegatta
面映 (はゆ) い	x	
思わしい	<m>omowa[si:. omowa[sigu_[ne: で使うのが 普通	omowa[sigatta, omowa[sigu_[nagatta
愚かしい	x. [bagada	[bagadatta

限りない	kangiri[ne:, kangi[ringa_[ne:	kangiri[nagatta, kangi[ringa_[nagatta
芳 (かぐわ) しい かしましい	x x. uru[se:, sawangasi[ne: (OK). Cf. se:gazi[kamasu (サイカチ吠 = 袋) と形容 表現	sawangasi[nagatta, <聞>-[negatta
仮借ない	x.	
数多い	x. [kazunga_[o:i	
風邪っぼい	kazeppoi=, kazappoi=	kazeppo[gatta, kazappo[gatta
かったるい	<n>katta[rui, <普>da[ri:, da[rui	[darugatta, da[rugatta
金臭い	kanakuse:=	kanakusa[gatta
黴臭い	kabikuse:=	kabikusa[gatta
軽っぼい	<m>karuppoi=, <普>karukoi=	karuppo[gatta, <普>karuko[gatta
頑是無い (子供が)	x. kijane:= (言うことを聞かない), jakkika[ne: (強), kigiwagenga=[ne:	kikana[gatta (OK)
甲高い	kaNda[ge:	kaNda[gagatta
芳 (かん) ばしい	<◇>kaNba[si:, <◇>ko:ba[si:, kamoriko(nga)=[je: など	
聞き辛い	kigizure:=	kigizura[gatta
聞きにくい	kiginigi:=, kiginigui=	kiginigu[gatta
ぎこちない	gigoci[ne: (OK)	gigoci[nagatta
気障 (きざ) っぼい	x. ((kiza 自体も稀)	
気術無い (気苦労だ)	x	
気忙 (ぜわ) しい	kizewasi:=, [kizewasi: (強), kizewasi[ne:, [kizewasine: (怒る時), <聞>kicewasi:= (卑)	kizewasi[katta, kizewasi[gatta, [kizewasi[katta, [kizewasi[gatta, kizewasi[nagatta, <m>kizewasi[negatta
きな臭い	hi:naky[se:. Cf. hi:[na (畑で燃やし蚊寄せに 使うぼろ切れ <火縄, hi:ne[も)	hi:naky[sagatta
気味悪い	[kibi(nga)_wa[ri:, <m>kibiwa[ri: Cf. [je:_[kibi_[kitta は「ざまあ見ろ」	kibi[warugatta, kibiwa[rugatta
気持ちいい	kimozi[je:, kimozinga=[je:	kimozi[jogatta, kimozinga=[jogatta
興味深い (興味深い)	x. kjo:mibu[ge:	kjo:mibu[gagatta
御しやすい	x	
義理堅い	giringa[de:	giringa[dagatta
霧深い	kiringa_hu[ke:	
草深い	kysabu[ge:	kysabu[gagatta
糞臭い	kysokuy[se:	kysokuy[sagatta
くだらない	kudarane:=, kudaNne:=, <聞>kutarane:=, <聞>kytaNne:=	kudarana[gatta, kudaNna[gatta, kudaNne[gatta
口惜しい	x. kuja[si:	kuja[sigatta, kuja[sikatta
口堅い	kuzingade:=, kuzinga=kade:=	kuzingada[gatta
愚痴っぼい	guzi[poi, guzip[poi	guzi(p)[pogatta
狂おしい	x	
狂わしい	x	
黒っぼい	kurop[poi	kurop[pogatta
けち臭い	<n>kecikuy[se:, <o>ko[me:	kecikuy[sagatta, [komagatta, ko[magatta
元気いい	x. [geNkinga_[je:	

香ばしい	x. kaori(ko)nga=/ni[oinga_]je:	
小うるさい	[kouruse:, <x>[kourusene:	[kourusagatta
小汚い	[kokita:ne: (OK), kokita[ne:	[kokitanagatta, kokita[nagatta
小気味よい	x. kokkimi(nga)=[je:/wa[ri: は言う	
焦げ臭い	kongeky[se:	kongeky[sagatta
心地よい	kogozij[je:, ki[buN(nga)_]je:	kogozijogatta
心ない	kogoro[ne:	kogoro[nagatta
快い	kogoro[je:	kogoro[jogatta, kogoro[jegatta
小賢しい	[kozagasi: (悪い意), <?>ko[zagasi: 強意形は ige[kozagasi: (いけ小賢しい)	[kozagasigatta, [kozagasikatta, ige[kozagasigatta, ige[kozagasikatta
小寂しい	[koccabisi:, [koccamisi:, [koccabisine:, [koccamisine:	[koccab/misigatta, [koccab/misikatta, [koccab/misinagatta, <m>-negatta
こすからい	x	
小忙 (ぜわ) しい	[kozewasi:, [kozewasine: (ともに子供が対象)	[kozewasigatta, [kozewasinagatta, <m>-negatta
こそばゆい	x. kocjongasi:=(くすぐったい), 瞬間的反應 では [kocjongasi: も .	kocjongasi[gatta, kocjongasikatta, [kocjongasigatta, [kocjongasikatta
小足りない	kottaNne:=(OK)	kottaNna[gatta
小っ早い	koppaje:=(, kobaje:=(koppaja[gatta, kobaja[gatta
小っぴどい	koppidoi:=(, koppide:=(, <m>[koppide: はかなり特殊な場面	koppido[gatta
好ましい	konoma[si: Cf. koroma[si: (相手の物が欲しい, あやかりたい, うらやましい)	konoma[sigatta, konoma[sikatta
好もしい	x	
細かい	x. ko[me: (ケチの意が最も普通)	
ゴム臭い	gomuky[se:	gomuky[sagatta
酒臭い	sageky[se:=(sagekusa[gatta
定めない	x	
様 (ざま) はない	[zama:_[ne:	[zama:_[nagatta
冷めやすい (風呂; 気持)	sameja[su:	sameja[sugatta, sameja[sukatta, same[jasugatta, same[jasukatta (後2者は人に伝える時には言う かも)
去り難い	saringa[de:	saringa[dagatta
さりげない	saringe[ne:	saringe[nagatta
騒がしい	sawanga[si: (OK), sawangasi[ne:, <普>jagama[si:, uru[se:, sewasi[ne:	sawanga[sigatta, sawanga[sikatta, sawangasi[nagatta, <m>sawangasi[negatta
塩辛い	x. sjop[pe: Cf. sjogaraku[se: (塩辛い)	sjop[pagatta
しおらしい	x. odona[si:	odona[sigatta, odona[sikatta
仕方ない	şikada[ne:, şikadanga=[ne:	şikada[nagatta, şikadanga=[nagatta
爺むさい	x. ziziky[se: (様子, 臭い)	ziziky[sagatta
舌だるい	x	
慕わしい	x	
しちくどい	siziku[doi/[de:, siziky[toi/[te:	siziku[dogatta, siziky[togatta
しつっこい	sicy[ke:, <n><m>sicy[koi	sicy[kogatta
しどけない (姿)	x. darasi[ne:	darasi[nagatta
忍びない	<m>sinobi[ne:	sinobi[nagatta

慈悲深い	x	
湿っぽい	simeppoi=	simeppo[gatta
洒落臭い	x	
しょうがない	sjo:nga[ne:	sjo:nga[nagatta
しょうもない	sjo:mo[ne:	sjo:mo[nagatta
所在ない	x	
如才ない	[zjose:nga_[ne:	[zjose:nga_[nagatta
思慮深い	x	
焦れたい	?. zireragasa[reru と動詞表現	zireraga[sareda
白っぽい	sirop[poi	sirop[pogatta
皺深い	siwabuge:=, <m>siwabu[ge:	siwabuga[gatta, siwabu[gagatta
末永い	<m>suena[ngai (挨拶 suena[ngagu で)	<?>suc[nangagatta
すさまじい	<n>susama[zi, <普>monosu[nge:	susama[zigatta, monosu[ngogatta,
		<m?>mono[sungogatta
すばしこい	supasi[koi (OK)	supasi[kogatta
素晴らしい	<n>subara[si:, <普>su[ngogu_[je:, [taisita_[je:	
滑っこい	sube[koi (主に口が軽い意), syupe[koi (主に	sube[kogatta, syupe[kogatta
	氷などが滑りやすい意). <x>肌や手触り (生	
	活に無縁).	
住みにくい	sumini[gi:	sumini[gugatta (一度は -[nigugatta
		もと)
世知辛い	<x>sezinga[re:	
忙 (せわ) しない	sewasi[ne: (うるさい意)	sewasi[nagatta, <m>sewasi[negatta
造作ない (簡単だ)	zo:[sanga_[ne:, <m>zo:[sa_[ne:	zo:[sanga_[nagatta
俗っぽい	x	
そぐわない	songuwane:=	songuwana[gatta
底深い	sogobuge:=	sogobuga[gatta
そっけない	sokke[ne:, sok[kemo_[ne:	sokke[nagatta
大事な	x	
耐え難い	te:nga[de:, taenga[de:	te:nga[dagatta, taenga[dagatta
絶え間ない	x	x
類いない	tangui[ne:	tangui[nagatta
遅 (たくま) しい	taguma[si:	taguma[sigatta, taguma[sjikatta
断ち難い	<x>tazinga[de:	<x>tazinga[dagatta
頼もしい	tanomo[si:,	tanomo[sigatta, tanomo[sjikatta,
	<m>tanomosi[ne:	tanomosi[nagatta
たまらない	tamaNne:=	tamaNna[gatta
頼りない	tajori[ne:	tajori[nagatta
だらしない	darasi[ne:, darasinga=[ne:	darasi[nagatta, darasinga=[nagatta
たわいない	[tawe:nga_[ne:	[tawe:nga_[nagatta
違いない	cinge:[ne:	cinge:[nagatta
力ない	cikara[ne:, cika[ranga_[ne:	cikara[nagatta, cika[ranga_[nagatta
乳臭い	[ciccikyse: (母親 , 牛ともに)(OK)	[ciccikysagatta
調子いい	cjo:si[je:, cjo:[singa_[je:	cjo:si[jogatta, cjo:[singa_[jogatta
土臭い	cuziky[se:	cuziky[sagatta
恙 (つつが) ない	<m>cuzunga[ne:	cuzunga[nagatta
慎ましい	cuzuma[si:	cuzuma[sigatta, cuzuma[sjikatta
つまらない	cumaN[ne: のみ	cumaN[nagatta

罪がない	[cuminga_[ne:	[cuminga_[nagatta
罪深い	cumibu[ge:, <m>cumihy[ke:	cumi[bugagatta (OK), cumibu[gagatta
艶っぽい	x. irop[poi	irop[pogatta
露っぽい	x	
面 (つら) 憎い	x. nikytara[si:	nikytara[sigatta, nikytara[sikatta
手厳しい	tekibi[si:	tekibi[sigatta, tekibi[sikatta
手ばしこい	tebası[koi	tebası[kogatta
照れ臭い	tereky[se:	tereky[sagatta
度し難い	x	
どす黒い	dosungu[roi, dosungu[re:	dosungu[rogatta (OK)
とどめない	x	
泥臭い	dorokı[se:	dorokı[sagatta
泥深い	x	
鈍 (どん) 臭い	x	
情けない	nasage[ne:	nasage[nagatta
懐かしい	nazuga[si, nacıka[si:	nazuga[sigatta, nacıka[sigatta, nacıka[sikatta
懐っこい	nacı[koi (OK)	nacı[kogatta
何気ない	naninge[ne:	naninge[nagatta
生臭い	namangu[se:, <x>-koi	namangu[sagatta
生白い	x	
生温い	namanu[ri, namanu[rui	namanu[rugatta
悩ましい	najama[si:	najama[sigatta, najama[sikatta
並びない	x	
似合わしい	x	
賑わしい	x	
憎らしい	nigura[si, nigurasi[ne:	nigura[sigatta, nigura[sikatta, nigurasi[nagatta, nigurasi[negatta
にべもない	x	
願わしい	x	
寝苦しい	nengurusi:=, nenguru[si:	nengurusi[gatta, nengurusi[katta, nenguru[sigatta, nenguru[sikatta
妬ましい	x	
ねちっこい	x. sicı[koi	
ねつつこい	<x>necı[koi, gamaNzu[je:	
熱っぽい	nezup[poi, ne[zunga_[aru	nezup[pogatta
粘っこい	neba[koi, nebak[koi	neba(k)[kogatta
望ましい	<上>nozomasi:=	
飲みにくい	nomini[gi, nomini[gui	nomini[gugatta
鈍 (のろ) 臭い	x. no[roi	[norogatta, no[rogatta
呪わしい	x	
馬鹿臭い	bagaku[se:	bagaku[sagatta
馬鹿高い	bagata[ge:, bagada[ge:, [bagani_ ta[ge:	bagata[gagatta, bagada[gagatta, <m>baga[tagagatta, <m>-[dagagatta
馬鹿っぽい	bagap[poi	bagap[pogatta
馬鹿でかい	bagadek[ke:, bagade[ge:	bagadek[kagatta, bagade[gagatta

馬鹿らしい	bagara[si:	bagara[sjikatta, bagara[sigatta
はしたない	hasita[ne:	hasita[nagatta
はっこい	x	
恥ずかしい	[sjo:si: (強調は [sjo:si:_[sjo:si: と繰り返す), o[sjo:si: (女性が使う). 動詞は (o)sjo:si[ngaru.	[sjo:sigatta, [sjo:sjikatta
バタ臭い	x	
肌寒い	hadaza[mui, hadaza[mu:, hadaza[mi:	hadaza[mugatta
果てしない	hadesi[ne:	hadesi[nagatta
ばばっちい	x. kija[ne:	kija[nagatta
幅広い	habahi[roi, habahi[re:=	habahi[rogatta, <m>habahiro[gatta
腹黒い	harangu[roi, harangu[re:	harangu[rogatta, hara[ngurogatta
人臭い	hitokuse=(人のいる気配)	hitokusa[gatta
人らしい	hitorasi=(人情があり人間的だ)	hitorasi[gatta, hitorasi[katta
冷やっこい	hjak[koi, sjak[koi, hjak[ke:, sjak[ke:, hak[koi, hak[ke:	hjak[kogatta, sjak[kogatta, hak[kogatta
ひよろ長い	hJORona[nge:	hJORona[ngagatta
腑甲斐ない	hunge:[ne:	hunge:[nagatta
相応しい	<m>hysa:[si:	hysa:[sigatta, hysa:[sjikatta
古臭い	huruku[se:	huruku[sagatta
下手臭い	hedaku[se:	hedaku[sagatta
誇らしい	<x>hogora[si:	
細っこい	hosokoi (OK)	hosokogatta
細長い	hosona[nge:	hosona[ngagatta
程近い	x. ci[ke:	
程遠い	hodoto:i=	hodoto:[gatta
骨っぽい	<m>honep[poi	honep[pogatta
仄暗い	x	
仄白い	x	
ほろ苦い	horoni[nge:	horoni[ngagatta
間が悪い	manga=wa[ri:	manga=[warugatta, manga=wa[rugatta
又とない	ma[dado_]ne:	ma[dado_]nagatta
待ち遠い	x. mazido:[si:	mazido:[sigatta
真っ黒い	makku[re, mak[kuroda	makku[rogatta, <m>mak[kurogatta mak[kurodatta は OK.
真っ青い (真っ青だ)	x. mas[saoda	mas[saodatta
真っ白い	massi[roi, macci[roi (子供が使う)	massi[rogatta, macci[regatta
丸っこい	marukoi= (OK)	maruko[gatta
真ん丸い	maNma[ru:, maNma[ri:, maNmaru[koi, maNmaru[ke:	maNma[rugatta, maNmaru[kogatta
見苦しい	minguru[si:	minguru[sjikatta, minguru[sigatta
水臭い	mizukuse=, mizuku[se:	mizukusa[gatta, mizuku[sagatta
水っぽい	mizuppoi=	mizuppo[gatta
耳聡い	<x>mimiza[doi. meza[doi は言うが.	
みみっちい	x	
耳遠い	x. 文字通りの意味なら mi[minga_to:i=. Cf. kijazu= (聾者<聞かず).	
蒸し暑い	musia[zu:, musiac[cu:	musia[zugatta, musiac[cugatta

虫がいい 難しい むず痒い むせっぽい 睦ましい 目覚ましい 珍しい もどかしい 物堅い 物臭い (面倒) ものすごい やかましい	musinga=[je: muzugasi:= <x>muzungajui= x. museru= と動詞で表現 <上>mucuma[zi:, <普>[naganga_je: mezama[si: mezura[si:, <聞>mezura[su:, <m>mezurasi[koi, <m>mezurasi[ne: x. [jakimoki_suru, i[raira_suru <m>mononga[de:, kade:= x monosu[nge: jagama[si:, jagamasi[ne:, jassewa[si:, jaccewa[si:, jaccja:[si: (jas-/jac- は強意形)	musinga=[jogatta muzugasi[gatta, muzugasij[katta [naganga_je:gatta mezama[sigatta, mezama[sjikatta mezura[sigatta, mezura[sjikatta, mezurasi[nagatta, mezurasi[negatta monosu[ngogatta, mono[sungogatta jagama[sigatta, jagama[sjikatta, jagamasi[nagatta, <m>jagamasi[negatta, jass/ccewa[sigatta, jass/ccewa[sjikatta, jaccja:[sigatta, jaccja:[sjikatta jasu(p)[pogatta janeky[sagatta, maccaneky[sagatta
安っぽい 脂 (やに) 臭い 脂 (やに) っこい 野暮臭い 野暮ったい 山深い 止み難い ややこしい やる瀬ない 柔らかい 雪深い 揺るぎない 緩くない 欲深い 淀みない (話し方) 呼びにくい 読みにくい 読みやすい 埒もない	jasu[poi, jasup[poi janeky[se: (OK), maccaneky[se: (松脂～), mattaneky[se: とも x x. ([jabo 自体稀) →田舎臭い x <x>jamabu[ke: <x>jaminga[de: jajako[si: jaruse[ne: ja:[koi, ja:[ke, ja:ra[koi, ja:ra[ke:, jawara[koi, jawara[ke: jugibuge:= <x>jurungi[ne: [jurugune:, ju[rugune:. (辛い, 楽ではない, の 意) jogubu[ge: (OK) x jobinigu[, jobinigi:= jomini[gui, jomini[gi: jomija[su: x. [razinga/mo_agane:=	aminga[dagatta jajako[sjikatta, jajako[sigatta jaruse[nagatta ja:[kogatta, ja:ra[kogatta, jawara[kogatta, jawara[kagatta jugibuga[gatta jurungi[nagatta [jurugunagatta, ju[rugunagatta jogubu[gagatta jodomi[nagatta jobinigu[gatta jomini[gugatta jomija[sugatta, jomija[sukatta
<6 モーラ形容詞> 愛くるしい 青黄色い 赤黄色い 飽き足りない あたじけない(けちだ)	x x x akjtari[ne:, agidari[ne:, akjitaN[ne:, agitaN[ne:, <m>agidaN[ne: x	akjtari[nagatta, agidari[nagatta, akjitaN[nagatta, agitaN[na-, -daN[na-

厚かましい	acykama[si:, azugama[si:	acykama[sigatta, -[sɨkatta, azugama[sigatta, -[sɨkatta
暑苦しい	acykuru[si:, azukuru[si:, azuguru[si:, azunguru[si:	acykuru[sigatta, -[sɨkatta, azukuru[sigatta, -[sɨkatta, azuguru[sigatta, -[sɨkatta, azunguru[sigatta, -[sɨkatta
厚ぼったい	azubotte=	azubotta[gatta
危なげない	abunange[ne:	abunange[nagatta
脂っこい	abura[koi, aburak[koi, <m>abura(k)[ke:	abura(k)[kogatta
甘酸っぱい	amazuppe=	amazuppa[gatta
甘ったるい	amadarui=, <m>amattarui=	amadaru[gatta
甘っちょろい	x	
荒々しい	araara[si:	araara[sɨkatta, araara[sigatta
あられもない	x	
歩きにくい	arugini[gui, arugini[gi:	arugini[gugatta, <m>-[nigugatta
慌ただしい	<m>awatada[si:, <普>isongasi[ne:, <普>sewasi[ne:	awatada[sɨkatta,awatada[sigatta
	x	
哀れっぽい	awarebu[ge:	awarebu[gagatta, aware[bugagatta
哀れ深い	i:nge:nga=[ne:, <m>i:nge:[ne:	i:nge:nga=[nagatta, i:nge:[nagatta
言い甲斐ない	x	
いかわしい	<m>ingarap[poi, <普>(j)eNngara[koi, (j)eNngara[ke:	ingarap[pogatta, (j)eNngara[kogatta
いがらっぽい	iginguru[si:, [igi:_cuguni_]jurugune: (息をつ く(の)に緩くない=苦しい)	iginguru[sɨkatta, iginguru[sigatta
息苦しい	iguzinga=[ne:, zi[gunga_]ne:: Cf. zi[gunasi (意 気地なし, 人)	
意気地がない	igesyuka[ne: (OK)	igesyuka[nagatta
いけ好かない	izikɨta[ne:	izikɨta[nagatta
意地汚い	x	
いたいけない	idaida[si:	idaida[sɨkatta, idaida[sigatta
痛々しい	x. hanahada[si:	hanahada[sɨkatta, -[sigatta
著しい	inagakɨse=, zaingokɨse= (在郷 -)	inagakɨsa[gatta, zaingokɨsa[gatta
田舎臭い	imaima[si:	imaima[sigatta, imaima[sɨkatta
いまましい	iratada[si: (OK)	iratada[sɨkatta, iratada[sigatta
苛立たしい	iNkikɨse=	iNkikɨsa[gatta
陰気臭い	uiui[si:	uiui[sɨkatta, uiui[sigatta
初々しい	x	
胡散臭い	x	
後ろ暗い	x? jama[si:	jama[sigatta のみか
後ろめたい	usuagari=	usuagari[gatta
薄明るい	usukɨta[ne: (OK)	usukɨta[nagatta
薄汚い	usurasaN[bi:, usurasa[bui	usurasaN[bigatta, usurasa[bugatta, <m>-[sabugatta
薄ら寒い	udanga[si:, udanga:si=	udanga[sɨkatta, udanga:[sigatta, udanga:si[gatta, udanga:sɨ[katta
疑わしい	utto:[si:	utto:[sɨkatta, utto:[sigatta
鬱陶(うっとう)しい	x	
疎々(うとうと)しい	x	
恭(うやうや)しい	x	

うら悲しい	x. kanasi:=	
うら寂しい	x. sabi[si:	
恨み深い	uramibu[ge:	uramibu[gagatta, urami[bugagatta
羨 (うらや) ましい	urajama[si:, <x>kenari:	urajama[sikatta, urajama[sigatta
えがらっばい	<o>jeNngara[koi, -[ke:, eNngara[koi, -[ke:	(j)eNngara[kogatta
遠慮深い	eNrjobuge:=, eNrjobu[ge:	eNrjobuga[gatta, eNrjobu[gagatta,
		eNrjo[bugagatta
犯し難い	x	
奥ゆかしい	<m>ogujuga[si:	ogujuga[sikatta, ogujuga[sigatta
おこがましい	x	
怒りっばい	ogorip[poi, 動詞は o[goricirasu. <x>esep[poi	ogorip[pogatta
恐れ多い	osore[o:i	osore[o:gatta. 普通は osore[o:kute の形で
男臭い	odogoku[se:	odogoku[sagatta
男らしい	odogora[si:	odogora[sikatta, -ra[sigatta
大人気ない	odonange[ne:	odonange[nagatta
おびただしい	x	
覚束ない	obocukane:=	obocukana[gatta
重々しい	omoomo[si:	omoomo[sikatta, -[sigatta
重苦しい	omokuru[si:, omonguru[si:, <m>omoguru[si:	omokuru[sikatta, -[sigatta 等
お安くはない (揶揄)	ojasugu[ne:. Cf. ojasu:=	ojasugu[nagatta. Cf. ojasu[gatta
恩がましい	x	
女臭い	onangokuse:=	onangokusa[gatta
女っばい	onangoppoi=	onangoppo[gatta
女らしい	onangorasi:=	onangorasi[katta, -si[gatta
甲斐甲斐しい	kaingai[si:	kaingai[sigatta, -[sikatta
懷疑深い	x	
香り高い	kaoritage:=	kaoritaga[gatta
輝かしい	kangajaga[si:	kangajaga[sikatta, -[sigatta
隠れもない	x. Cf. [ningekaguremo_[ne:	
掛け替えない	<m>kagenge:[ne:, <普>kagenge:nga=[ne:	
堅苦しい	kadanguru[si: (OK), kadakuru[si:, <x>-guru-	kadanguru[sikatta, -[sigatta,
		kadakuru[sikatta, -[sigatta
辱 (かたじけな) い	<上>kadazige[nai, omossage[ne:, <普>omossagenga=[ne:	kadazige[nagatta, omossage[nagatta,
		omossagenga=[nagatta
角 (かど) 々しい	x	
喧 (かまびす) しい	x	
我慢強い	gamaNzu[je:	gamaNzu[jogatta, <聞>-zu[jegatta
軽々しい	karungaru[si:	karungaru[sigatta, -[sikatta
カルキ臭い	x	
軽々 (かろがろ) しい	x	
可愛らしい	<m>kawaira[si:, <普>meN[koi, me[ngoi	meN[kogatta, [mengogatta,
		me[ngogatta
変わりやすい	kawarijasui=, kawarijasu:=	kawarijasu[katta, -su[gatta
感じやすい	kaNzijasui=, -jasu:=, -jasi:=	kaNzijasu[katta, -su[gatta
黄色っばい	ki:roppoi=	ki:roppo[gatta
聞き苦しい	kigingurusi:=	kigingurusi[gatta
気遣わしい	x	

汚らしい 気恥ずかしい	kītanara[si: x. [sjo:si: (笑止い), <m>[kocco:si: (小-), <m>[kocco:sine:	kītanara[sigatta, -[s]katta [sjo:s]katta, [sjo:sigatta, [kocco:s]katta, [kocco:sigatta, [kocco:sinagatta のみ
きまり悪い 気難しい	kimariwa[ri: <普>kimuzugasi:=, kimuzuga[si:, [kimuzugasi: <?>ki[muzugasi: (ともに強意. 後者は可否判断が揺れる)	kimari[warugatta, -wa[rugatta kimuzugasi[gatta, -s]katta, kimuzuga[sigatta, -[s]katta, [kimuzugasigatta, -s]katta
仰々しい 興味深い	x. o:nge[sada など kjo:mibu[ge:, <普>omosi[re:	kjo:mibu[gagatta, -[bugagatta, omosi[rogatta
窮まらない くすぐったい	x x. kocjongasi:=, <m>koccingasi:=. 瞬間の反応 では [kocjongasi:, <m>[koccingasi: も . 動詞 は kocjongasu=, koccingasu=	kocjongasi[gatta, <上>-s]katta, [kocjongasigatta, [kocjongas]katta
くぐぐだしい ぐだぐだしい	x. ku[de:, ku[doi, kudokudo[si: x. gu[daguda_s]i[te(i/:)ru	
口うるさい 口汚い	kuziuruse:=, kuziuru[se: kuzikītane:=	kuziurusa[gatta, kuziuru[sagatta kuzikītana[gatta
口さがない 口寂しい	x kuzisabisi:=	kuzisabisi[gatta
屈託ない くどくどしい	x kudokudo[si:, ku[de:, ku[doi	kudokudo[sigatta, -[s]katta, [kudogatta, ku[dogatta
与(くみ)しやすい 黒々しい	x x	
汚らわしい けたたましい	<m>kengarawa[si: <m>ketatama[si:, <普>jagama[si:, jagamasi[ne:	jagama[sigatta, -[s]katta, jagamasi[nagatta, <m>-si[negatta kebakaba[sigatta, -[s]katta
けばけばしい 神々(こうごう)しい	kebakaba[si: x	kebakaba[sigatta, -[s]katta
心強い 心憎い	kogorozu[je: kogoroni[gi:, kogoroni[gui	kogoro[zu]ogatta, -zu[jogatta kogoro[nigugatta, -ni[gugatta
心細い 心安い	kogorobo[soi, kogorobo[se: kogoroja[su:	kogoro[bosogatta, -bo[sogatta kogoroja[sugatta, -[jasugatta
心弱い	x. ko[goronga_]jo[we:, kijowada=, curajowada=(面弱), <o>curajuwada=	
こすからしい こすっからしい	x x	
小面憎い 事々しい	x x	
子供っぽい 子供らしい	kodomoppoi=, <普>warasip[poi kodomorasi:=, <普>warasira[si:	kodomoppo[gatta, warasip[pogatta kodomorasi[gatta, -s]katta, warasira[sigatta, -[s]katta [konigurasi[gatta, -s]katta
小憎らしい この上ない	[konigurasi: konou[ewa_]ne:	
小恥ずかしい	[koppazugasi:, koppazugasi:=. (小っ恥ずかしい)	[koppazugasigatta, -s]katta, koppazugasi[gatta, <m>-s]katta

細々しい	komangoma[si:, ko[me: (これは金銭関係に)	komangoma[ɕikatta, -[sigatta, [komagatta, ko[magatta
小難しい	[komuzugasi: (OK)	[komuzugasɕikatta, -sigatta
小やかましい	[kojagamasi: (OK)	[kojagamasigatta, <m>-ɕikatta
根気強い	koNkizu[je: (根気 koNki=)	koNkizu[jogatta, -[zujogatta
魚臭い	saganakuse:=	saganakusa[gatta
仕方がない	ɕikadanga=[ne:, ɕikada[ne:	ɕikadanga=[nagatta, ɕikada[nagatta
しちうるさい	<m>siziuru[se:	siziuru[sagatta
嫉妬深い	sittobu[ge: (嫉妬 [sitto)	sittobu[gagatta
自慢臭い	zimaNku[se:	zimaNku[sagatta
邪推深い	x	
熟柿臭い	x. sagekuse:= (酒臭い)	sagekusa[gatta
白々しい	sirazira[si:	sirazira[ɕikatta, -[sigatta
尻こそばい (尻こそばいゆい)	x	
辛気臭い	x	
好いたらしい	x	
図々しい	zu:zu:[si:	zu:zu:[ɕikatta, -[sigatta
清々しい	<上>sungasunga[si:	
すばっこい	ɕupasɕi[koi (OK), subasɕi[koi	ɕupasɕi[kogatta, subasɕi[kogatta
狡賢い	zurungasɕi[koi, zurungasɕi[ke:, susu[koi	zurungasɕi[kogatta, susu[kogatta
石油臭い	segijuku[se: (石油 se[giju)	segijuku[sagatta
せせこましい	<x>sesekoma[si:	
狭苦しい	semakuru[si:	semakuru[ɕikatta, -[sigatta
詮方ない	x	
騒々しい	so:zo:[si:, jassewa[si:, jacewa[si:	so:zo:[sigatta, -[ɕikatta, jass/ccewa[sigatta, -[ɕikatta [uccugidamasinga_[nagatta
そそっかしい	<m>sosokka[si:, [uccugidamasinga_[ne: (そわそわ落ち着きなし)	
空々しい	x	
猛々しい	x	
だだっ広い	dadappi[roi, dadappi[re:	dadappi[rogatta のみ
たどたどしい	tadotado[si:	tadotado[sigatta, -[ɕikatta
近々しい	x	
力強い	ɕikarazu[je:	ɕikarazu[jogatta
血生臭い	cinamanguse:=	cinamangu[sagatta (長いのでこう 発音したくなると), -ngusa[gatta
茶色っぽい	cjairopoi=	cjairopo[gatta
注意深い	cju:ibu[ge:	cju:i[bugagatta, -bu[gagatta
調子がいい	cjo:[singa_[je:, cjo:si[je:	cjo:[singa_[jogatta, cjo:si[jogatta
毒々しい	x	
刺々しい	tongetonge[si:	tongetonge[sigatta, -[ɕikatta
とてつもない	todecumo[ne: (OK)	todecumo[nagatta
とんでもない	toNdemo[ne:	toNdemo[nagatta
長たらしい	nanga(t)tara[si:	nanga(t)tara[sigatta, -[ɕikatta
長っ細い	nanga(p)po[soi, nanga(p)po[se:	nanga(p)po[sogatta, <x?>-[posoga-
長々しい	nangananga[si:	nangananga[ɕikatta, -[sigatta
嘆かわしい	<m>nangekawa[si: (OK)	nangekawa[sigatta, -[ɕikatta

名残惜しい	nangorio[si:	nangorio[sigatta, -[sɨkatta, <m>-[osigatta, <m>-[osɨkatta
情け深い	nasagebu[ge:	nasagebu[gagatta のみ
馴染み深い	nazimibu[ge:	nazimibu[gagatta
生っ白い	x	
生々しい	namanama[si:	namanama[sigatta, -[sɨkatta
艶めかしい	<m>namamega[si:	namamega[sigatta, -[sɨkatta
生やさしい	x	
涙もろい	namidamo[roi	namidamo[rogatta, -[morogatta
馴れ馴れしい [慣]	narenare[si:	narenare[sigatta, -[sɨkatta
何でもない	naNdemo[ne:, naNdemo=[ne:	naNdemo[nagatta
何にもない	na(N)nimo=[ne:	na(N)nimo=[nagatta
煮え切らない	ne:ki[rane: (OK)	ne:ki[ranagatta, <?>ne:kira[nagatta
苦々しい	ninganinga[si:	ninganinga[sigatta, -[sɨkatta
賑 (にぎ)々しい	x	
憎たらしい	nikyūta[si:, <?>[nikyūta[si:, nikyūta[si:[ne:	nikyūta[sɨkatta, nikyūta[sigatta, nikyūta[si:[nagatta, -si[negatta
憎々しい	x	
似つかわしい	x	
妬み深い	x	
粘り強い	nebarizu[je:	nebarizu[jogatta, -[zujogatta
残り多い	nogori[o:i (OK)	nogori[o:gatta (OK)
残り惜しい	x	
捗々 (はかばか) しい	hagabaga[si:	hagabaga[sɨkatta, -[sigatta
馬鹿馬鹿しい	bagabaga[si, bagabagasi[ne:	bagabaga[sigatta, -[sɨkatta, bagabagasi[nagatta, <x>-si[negatta
ばつが悪い	ba[zunga_wa[ri:	ba[zunga_w[warugatta/[warigatta
甚だしい	hanahada[si:	hanahada[sigatta, -[sɨkatta
華々しい	hanabana[si:	hanabana[sigatta, -[sɨkatta
腹汚い	x. harangu[roi, harangu[re:	
腹立たしい	haratada[si: (OK)	haratada[sigatta, -[sɨkatta
晴れがましい	<m>harengama[si:	
晴れ晴れしい	x	
腫れぼったい	harebotte:=	harebotta[gatta
人がましい (一人前)	x. hitor[me:. Cf. hitorasi=(人情があり人間 らしい), hitorasigu[ne:(人柄悪し), hitorura:sigu[ne:(人柄もっと悪し) hitoracykoi=, hitoracy[koi, hitoracy[ke:	hitorasi[gatta, hitorasi[katta hitorasigu[nagatta, hitorura:sigu[nagatta hitoracy[kogatta (OK)
人懐こい	hinadakuse:=	hinadakusa[gatta
日なた臭い	hirabette:=, bippira[te:(真っ平らだ)	hirabetta[gatta, bippira[tagatta
平べったい	hugubugu[si:	hugubugu[sigatta, -[sɨkatta
福々しい	hutebude[si:	hutebude[sɨkatta, -[sigatta
ふてぶてしい	huruburu[si:	huruburu[sigatta, -[sɨkatta
古々しい	hurumega[si:	hurumega[sɨkatta, -[sigatta
古めかしい	beNzjoky[se:	beNzjoky[sagatta
便所臭い	ho[gademo_[ne:	ho[gademo_[nagatta
他でもない	<上>hogorita[ge:	hogorita[gagatta, -[tagagatta
誇り高い	hogorippo[pe:	hogorippo[gatta
埃っぽい		

ほの明るい	x	
微笑ましい	<x>hohoema[si:	
真新しい	ma:dara[si:, <x>ma:darasi[ne:	ma:dara[sigatta, -[sɨkatta
禍々 (まがまが) しい	<x>mangamanga[si:. Cf. ma[ngamanga_suru= まごまごする, 動作が鈍い	
紛らわしい	mangira:[si:	mangira:[sɨkatta, -[sigatta
間怠 (だる) っこい	<n>madaru[koi, <普>madari:=	madaru[gatta
間違いない	mazinge[:nga_[ne: (OK), mazinge:[ne:	mazinge[:nga_[nagatta, mazinge:[nagatta
待ち遠しい	mazido:[si:	mazido:[sɨkatta, -[sigatta
まどろっこい	x	
まめめしい	x. ma[meni_ka[sengu (真面目に働く), <x>mamesi:=, <o>cjoku[se:de_i[masitaga (お 元気ですか, の挨拶)	
回りくどい	ma:rikudoi=, -ku[de:, -kude:=	ma:riku[dogatta, ma:rikudo[gatta
回り遠い	x	
みすぼらしい	<x>misubora[si:	
瑞々しい	<x>mizumizu[si:	
みっともない	mittomo[ne:	mittomo[nagatta
耳苦しい	x. mimi[za:rida, kiguni=te[:ne:/ta[ene: (堪えない)	
惨 (むご) たらしい	mungotara[si:	mungotara[sigatta, -[sɨkatta
むさ苦しい	musakuru[si:	musakuru[sigatta, -[sɨkatta
胸苦しい	x. munenga=kuru[si:	
目新しい	meadara[si:	meadara[sigatta, -[sɨkatta
目まぐるしい	memanguru[si:	memanguru[sɨkatta, -[sigatta
面目ない	x	
もったいない	motte:[ne:	motte:[nagatta
物悲しい	<x>monongana[si:	
物寂しい	<?>monosabi[si:	monosabi[sigatta
物足りない	monotari[ne: (OK), <x>mono[tarine:	monotari[nagatta
物見高い	x	
物々しい	monomono[si:	monomono[sigatta, -[sɨkatta
やりきれない	jariki[rene: (OK), <x>jarikire[ne:	jariki[renagatta, <x>-kire[nagatta
やるかたない	x	
やんごとない	x	
よそよそしい	<m>josojoso[si:	
喜ばしい	jorogoba[si:	jorogoba[sɨkatta, -[sigatta
弱々しい	jowajowa[si:	jowajowa[sɨkatta, -[sigatta
理屈っぽい	rigucypoi= (OK)	rigucypoi[gatta
麗々しい	x	
分かりにくい	wagarini[gi:, -ni[gui	wagarini[gugatta, <m>-[nigugatta
分かりやすい	wagarija[su:	wagarija[sɨkatta, -ja[sugatta, wagari[jasɨkatta, -[jasugatta
若々しい	wagawaga[si:	wagawaga[sɨkatta, -[sigatta
態 (わざ) とらしい	wazatora[si: (OK)	wazatora[sɨkatta, -[sigatta
煩わしい	wazura:[si:	wazura:[sɨkatta, -[sigatta
忘れっぽい	wasurepoi=, wasureppoi=	wasure(p)poi[gatta

悪賢い	warungasi[koi, warungasi[ke:	warungasi[kogatta
〈7 モーラ形容詞〉		
哀愁深い	x. (哀愁⑩は演歌「哀愁列車」⑤ぐらい)	
味わい深い	aziwe:bu[ge:	aziwe:bu[gagatta, -[bugagatta
危なっかしい	<上>abunakkasi:=, <普>abune:=	abunakkasi[katta, -kasi[gatta
哀れみ深い	<m>awaremibu[ge:	awaremibu[gagatta
言うまでもない	ju:[mademo_[ne:	ju:[mademo_[nagatta
意見がましい	x	
居たたまれない	x	
嫌味たらしい	ijamitara[si:, ijamittara[si:	ijami(t)tara[sigatta, -[sɨkatta
印象深い	<m>iNsjø:buge:=	iNsjø:buga[gatta
因縁深い	<m>iNneNbu[ge: (因縁 [iNneN)	iNneNbu[gagatta
薄気味悪い	usukibinga=wa[ri:, usukiminga=wa[ri:, [kibi(nga)_wa[ri:	usukibinga=[warugatta, -wa[rugatta, usukiminga=[warugatta, -wa[rugatta
疑い深い	udange:buge:=, udange:bu[ge: (疑い udange:=, udangai=), <普>udanguribuge:=	udange:buga[gatta, udange:bu[gagatta, udanguribuga[gatta
疑りっばい	<x>udangurip[poi	
疑り深い	udanguribuge:=	udanguribuga[gatta
うら恥ずかしい	x	
恨みがましい	x. ura[mi:_[motte, [neni_[motte 等	
白粉 (おしろい) 臭い	osiroikeye:=, osiroiky[se:	osiroikeya[gatta, osiroiky[sagatta
思いがけない	omoinga[gene: (OK)	omoinga[genagatta
思い出深い	omoidebu[ge:	omoidebu[gagatta, -[bugagatta
折り目正しい	<m>orimetada[si:	orimetada[sɨkatta, -[sigatta
堅っかしい	kadanguru[si:, <m>kadakkuru[si:	kadanguru[sigatta, -[sɨkatta
片腹痛い	x	
感慨深い	x	
考え深い	kaNnge:bu[ge:	kaNnge:bu[gagatta, -[bugagatta
勘定高い	kaNzjo(:)dage:=, kaNzjo(:)da[ge:	kaNzjo(:)daga[gatta, kaNzjo(:)da[gagatta, -[dagagatta
感銘深い	x (「感銘」自体が本で覚えた)	
規則正しい	kisogutada[si:	kisogutada[sɨkatta, -[sigatta
口幅ったい	x	
口やかましい	kuzijagamasi:=, <m>kuzijagama[si:, <m>kuzijagamasi[ne:, kuzinga=uru[se:	kuzijagamasɨ[katta, -sɨ[gatta, kuzijagama[sɨkatta, -[sigatta, kuzijagamasi[nagatta のみ
心苦しい	kogoronguru[si:	kogoronguru[sɨkatta, -[sigatta
心寂しい	kogorosabi[si:	kogorosabi[sɨkatta, -[sigatta
心許ない	kogoromodo[ne:	kogoromodo[nagatta
小っ恥ずかしい	koppazugasi:=, [koppazugasi: (強意), <聞>ige[sjo:si: (いけ恥ずかしい)	koppazugasi[gatta, <m>-sɨ[katta, [koppazugasigatta, -sɨkatta
事新しい	<m>kodoadara[si:	kodoadara[sigu は使う . <普>ko[do_adara[sigu
差し出がましい	sasidengama[si:	sasidengama[sɨkatta, -[sigatta
しかつめらしい	x	
親しみ深い	sɨtasimibu[ge:	sɨtasimibu[gagatta

しち難しい	sizi[muzugasi: (OK)	sizi[muzugasikatta (OK), sizi[muzugasigatta
自慢たらしい	<m>zimaNtara[si:, zi[maN_sj[te(i/:)ru	zimaNtara[sigatta, -[sikatta, zi[maN_sj[te(i/:)da
執念深い	sju:neNbu[ge:, doccjobu[ge:	sju:neNbu[gagatta, -[bugagatta, doccjobu[gagatta, -[bugagatta
性懲りもない	<>sjo:korimo=[ne:, <普>ko[risko:mo_[ne:	
小便臭い	sjoNbeNku[se:	sjoNbeNku[sagatta
尻こそばゆい	x	
素人臭い	siro:doku[se:	siro:doku[sagatta
信心深い	siNziNbuge:=, siNziNbu[ge:. (信心 siNziN=)	siNziNbuga[gatta, -bu[gagatta, siNziN[bugagatta
辛抱強い	siNbo:zu[je:, -zu[joi	siNbo:zu[jogatta, -[zujogatta
末恐ろしい	sue:=osoro[si:, <?>sue:=[osorosi:	sue:=osoro[sigatta, -osoro[sikatta
末頼もしい	x	
そこはかかない	x	
空恐ろしい	x	
空恥ずかしい	x	
大層らしい	x	
嗜み深い	x	
頼み少ない	x	
慎み深い	<m><o?>cuzusimibu[ge:	cuzusimi[bugagatta, -bu[gagatta
手っ取り早い	tettoriba[je:	tettoriba[jagatta, <m>-[bajagatta
年寄り臭い	tosjoriku[se:	tosjoriku[sagatta
年寄りっぽい	tosjorip[poi	tosjorip[pogatta
長ったらしい	<普>nangatarasi:, nangatarasi:	nanga(t)tara[sikatta, -[sigatta
何心ない	x	
何事もない	naningodomo=[ne:	naningodomo=[nagatta
生暖かい	namaatta[ge:	namaatta[gagatta
生新しい	x	
涙ぐましい	namidanguma[si:	namidanguma[sigatta, -[sikatta
人間くさい	hitokuse:=(人のいる気配)	hitokusa[gatta
人間らしい	<>niNngeNراسi:=. hitorasi:=	hitorasi[katta, -si[gatta
人情深い	niNzjo:bu[ge:	niNzjo:bu[gagatta, -[bugagatta
残り少ない	nogorisugu[ne:, <普>sugu[ne:	nogorisu[gunagatta, -gu[nagatta
計り知れない	hagarisi[rene: (OK)	hagarisi[renagatta
花恥ずかしい	x	
人懐っこい	hitonacykoi=(OK)	hitonacyko[gatta, <聞>-[kogatta
貧乏臭い	biNbo:ku[se:	biNbo:ku[sagatta
分別臭い	x	
分別らしい	x	
抹香臭い	x	
惨めたらしい	mizimettara[si:	mizimettara[sigatta, -[sikatta
みだりがましい	x	
みだりがわしい	x	
耳新しい	<m>mimiadara[si:	mimiadara[sikatta, -[sigatta
見る影もない	[miru_[kangemo_[ne:	[miru_[kangemo_[nagatta
未練がましい	x. (mi[reN 自体が上品)	

胸糞悪い 迷信深い	munakusowa[ri: me:siNbuge:=, me:siNbu[ge:. (迷信 me:siN=)	munakuso[warugatta, -wa[rugatta me:siNbuga[gatta, -bu[gagatta, me:siN[bugagatta もか
面倒臭い 申し訳ない	meNdoky[se: (OK) mo:siwage[ne:, <普>omossagenga=[ne:, omo:siwage=[nagozaNsu (挨拶)	meNdoky[sagatta mo:siwage[nagatta, omossagenga=[nagatta
もったいらしい もってもらしい	x. mot[te:_cy[keru, motte:[buru 等 mottomora[si:	mottomora[sigatta, -[sɨkatta
物恐ろしい 物狂おしい 物騒がしい	x x monosawanga[si:, monosa:nga[si:, mono[sa:ngasi:	monosawanga[sigatta, -[sɨkatta, monosa:nga[sigatta, -[sɨkatta, mono[sa:ngasi[gatta, -[sa:ngasi[gatta
物凄まじい 物珍しい 益体もない	<m>monosusama[zi: monomezura[si: ja[gude:mo_]ne: (相手が思うように動いて くれない) (益体 ja[gude:)	monosusama[zigatta monomezura[sigatta, -[sɨkatta
用心深い 拗 (よん) 所ない 態 (わざ) とがましい (態とらしい)	jo:ziNbu[ge: x x. wazatora[si:	jo:ziN[bugagatta, -bu[gagatta wazatora[sɨkatta, -[sigatta
〈8 モーラ形容詞〉 当てつけがましい 言い訳がましい いけずうずうしい 慈悲深い 嫌みったらしい 遠慮会釈ない 押し付けがましい 思いやり深い 面白おかしい 恩着せがましい 催促がましい 助平ったらしい ちゃんちゃらおかしい 何ともならない 一溜まりもない 貧乏たらしい 不精たらしい 惨めたらしい	adecukengama[si: i:wagengama[si: igezu:zu:[si: x ijamittara[si: eNrjo[esjagu_]ne: osicukengama[si: omoijaribu[ge: omosirooga[si: oNkɨsengama[si: [se:sogu_ba[:ri/be[:ri (催促ばかり), ha[datte_ba[:ri/be[:ri (要求してばかり) sukebettara[si: <x>cjaNcjaraoaga[si:, <x>-ogasi[ne: nadomo[naNne:. Cf. [nadomo (何とも)(OK) hɨto[tamarimo_]ne: (OK) biNbottara[si: x. Cf. busjo[:hinge (不精鬚)(OK) mizimettara[si:	adecukengama[sɨkatta, -[sigatta i:wagengama[sigatta, -[sɨkatta igezu:zu:[sigatta, -[sɨkatta x ijamittara[sigatta, -[sɨkatta eNrjo[esjagu_]nagatta osicukengama[sɨkatta, -[sigatta omoijaribu[gagatta, -[bugagatta omosirooga[sigatta, -[sɨkatta oNkɨsengama[sigatta, -[sɨkatta x sukebettara[sigatta, -[sɨkatta nadomo[naNnagatta hɨto[tamarimo_]nagatta biNbottara[sigatta, -[sɨkatta x mizimettara[sigatta, -[sɨkatta
〈9 モーラ形容詞〉 機械油臭い しち面倒臭い たまったもんじゃない	x. aburaku[se: (油臭い) sizimeNdo(:)kɨ[se:, <m>sizi[meNdo(:)kɨse: tamatta[moNde(wa)]_ne:	aburaku[sagatta sizimeNdo(:)kɨ[sagatta, sizi[meNdo(:)kɨsagatta tamatta[moNde(wa)]_nagatta